

カラマツ育種情報交換会の開催について

1. 情報交換会の開催

カラマツ優良種苗の普及を見据えた研究・技術開発成果の発信、カラマツ育種に係る検討会等の開催等を通じて、カラマツ育種等の研究の推進及びその成果の普及を図ることを目的とし、平成29年度にカラマツ育種技術連絡会を立ち上げました。この連絡会の活動の一環として平成30年8月8日から9日に岩手県立緑化センター(岩手県奥州市)において情報交換会を開催し、優良種苗の生産に重要な採種園の管理の在り方や着花促進等について情報交換を行いました。

この情報交換会では、生物系特定産業技術研究支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」の「カラマツ種苗安定供給に関する技術開発」で得られた最近の成果を中心に、カラマツにおける着花促進や種子採取等に関する知見や技術等について紹介するとともに、緑化センター内に設定されている江刺カラマツ採種園において現地検討会を行いました。この情報交換会には林野庁、森林管理局、森林管理署、道県、森林総研、林木育種センターから合計73名が参加しました。

2. 室内討議

情報交換会の室内討議では、1)カラマツ材の需要の拡大、それに伴う苗木不足など現在カラマツを取り巻く状況や採種園の重要性、2)カラマツ属における結実年齢や結実周期、花芽分化、3)これまでに国内外で行われてきた着果促進の取組、特に、環状剥皮処理の具体的な方法と最適な処理時期、採種園内でのローテーションによる効率的な事業の実施、4)受光伐に伴う光環境の改善による着花促進とその具体例(適切な光環境を維持するために受光伐を行うことによって、採種木数は減るが、採種木あたりの着果量が増加するため、面積あたりの球果生産量は増加する)、5)発芽可能な充実した種子を効率的に得る上で重要となる採種

場所・時期の決定方法、6)採種園等において効率的かつ安全に採種する方法として、高所作業車を利用した採種の実例等について情報提供と質疑・意見交換を行いました。

3. 現地検討

現地検討会では、岩手県林業技術センターの担当者から、岩手県のカラマツ採種園の現況やこれまでの採種園整備の経過、採種量の推移、育成管理方法等について説明がなされました。採種園全体を数ブロックに区分し、4～5年に1回の間隔で断幹・整枝・剪定、施肥、環状剥皮処理を行っていることが紹介されました。参加者からは採種木の管理方法(間伐、剪定、断幹)等について多くの質問・意見が出され、活発な議論が行われました。今回の情報交換会の開催に当たっては、岩手県林業技術センターに多大なる御協力を頂き、成功裏の内に情報交換会を終えることができました。この場を借りて、感謝申し上げます。



写真 1. 室内での情報交換の様子



写真 2. 江刺採種園での現地検討会の様子

(育種部 育種第一課 田村 明)